

研究課題別中間評価結果

1. 研究課題名： エピゲノム解析の国際標準化に向けた新技術の創出
2. 研究代表者： 白髭 克彦（東京大学分子細胞生物学研究所 教授）
3. 中間評価結果

本研究課題は、新規エピゲノム解析技術の開発を通して国際標準解析技術の提案を行うとともに、血管内皮細胞を対象としたエピゲノム解析を大規模に展開し、データ・技術両面で国際ヒトエピゲノムコンソーシアム（International Human Epigenome Consortium, IHEC）に貢献することを目指す。

汎用性の高いエピゲノム解析技術の標準化手法を4つのエピゲノム修飾について、抗体作成および少数細胞化で成功しただけでなく、12検体について解析対象であるエピゲノム情報をほぼ網羅し、IHEC プロトコルに沿って解析した標準エピゲノム解析データをわが国ではじめて公開するに至った。高品質標準エピゲノムの取得とデータ公開に向けたチーム内の連携は優れており、本研究領域内の他チームをはじめ、国内外の研究者への抗体の供与など、積極的な外部連携が見られる。

本研究課題は、血管内皮細胞のエピゲノム解析データを IHEC に公開したことなど、当初の計画通り順調に進展しており、期待通りの成果が得られていると考える。技術開発・データ公開などの IHEC への貢献に加え、新たな生物学的知見も期待できるため、今後、双方の面でさらに発展することを期待する。

以 上